2021.8.10

NP0フォーラム・だより 16.96



NPO法人安房文化遺産フォーラム (共同代表:愛沢伸雄、池田恵美子)

〒294-0045 千葉県館山市北条 1721-1 TEL&FAX: 0470-22-8271 E メール awabunka.npo@gmail.com 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

寄付募集中! 年会費=正会員 A:10,000 円 (総会議決権あり)・準会員 B:2,000 円・法人 10,000 円

(ゆうちょ銀行口座:00260-1-97307 名義 NPO法人安房文化遺産フォーラム)

新型コロナウイルス災禍に加え、猛暑お見舞い申し上げます。未曾有のパンデミックと 1 年遅れの東 京オリンピック開催という不穏な状況下ですが、皆様は健やかにお過ごしでしょうか。日頃よりNPO 活動へのご理解いただき感謝申し上げます。特に台風被災からコロナ禍にかけて厳しくなったNPO運 営に対して、温かいご寄付を賜りましたおかげで、小舟は荒波を乗り越え進んでおります。別紙のとお り、活動と会計報告をお知らせいたしますので、どうぞお目通しください。なお今年度より、定款を変更 して共同代表制度とし、下記のような新体制といたしました。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

【役員改選】 ·共同代表:愛沢伸雄、池田恵美子 ·副代表:鈴木政和

·理事:愛沢伸雄、愛沢香苗、新屋敷孝、池田恵美子、小沢義宣、片方義明

粕谷智美、鈴木政和、関 和美、鄭 一止 (チョン・イルジ)、松井啓悟

· 監事: 水上順義

◆ ツアーガイドのスタッフ募集!

台風被災からコロナ禍でスタディツアーは激減して いましたが、蔓延防止対策で県境を越えられない県内 の学校等から問合せが増えています。

現在は感染者数が激増し緊急事態宣言が出されてい ますが、解除後に備えスタッフを募集します。語るガイ ドだけではなく、安全にツアーを進行するためのサポ ートスタッフも必要です。見習いからお願いします。

月刊誌『教育旅行』8月号(日本修学旅行協会刊)に 掲載された当 NPO の記事を次頁に紹介します。

房日新聞 2021年5月7日付

PO法人安房文化遺産ーそう。情報量が多く、 事業などを展開するNボートすることはでき 産の調査研究やガイド ワークで戦跡について ホールなってあり、ア 戦跡を案内するガイド か歴学とフィールド (ごう) など地域の

戦跡ガイド講座に7人

館山のNPOが開催

座学や現場実習で学ぶ

参加者らは、

の養成をする講座が1れに応じてガイド内容 地域の歴史、文化遺は「ガイドするにはま 同市宮城の豊津も考えるように」と、 だ自信は無いが、 も学んだ。 ガイドとしての心構え のある大人なのか、 が子どもなのか、知識 り、「ガイドする相手 鈴木るみ子さん (63) イントを聞きながら流 参加した南房総市の

会があれば参加し、知 さまざまな歴史背景の一3日前までに申し込み される。定員は15人で、271、へ。 識を深めたい」と感想 合わせは、NPO法人 かった。これからも機 を話していた。 話がつながって興味深一が必要。参加費は会員 議座は15日にも開催 ム(0470-22-8 円となっている。問い 安房文化遺産フォーラ 非会員は500



赤山地下壌を学ぶ参加者ら=館山

代から約40年の間キノコ研究者 ち公開されているのは赤山地下 環(ごう)跡だけだそうだ。こ は打もの戦跡があるという。う 小学生2人も。 座学から始まる。館山市内に

とひんやりする。ガイドが身に 着けている寒暖計を見ると19度 に入る。この日気温は30度近 すぐにでも住めそ 壕の中に入る

の証言も残る。 た元館山市教育長の高橋博夫氏 れた」。赤山の近くで生まれ育っ は真珠湾攻撃前から掘り始めら きるものなのだろうか。「赤山 時期にこんなに丁寧な作業がで ある。果たして終戦間際の混乱

代表)が、

1時間半の講義の後、 戦跡ガイドに参加して

任者が4人、高校生2人の他

市外から3人、館山への移 早速参加した。参加者は15

があり、

部分は丁寧

な素掘りで

を張った上にモルタルが塗られ 戦が差し迫った1944年以降 この壕がつくられた年代につい 教育委員会の看板によると、終 てさまざまな説がある。館山市 ている箇所

だ知らない中で非常にためにな 生」のまちづくりを進められた とともに断層もいくつか確認で る経験をした」と参加者は話す。 きて6年。館山のことをまだま 歴史から学ぶ「平和・交流・共 残る城跡。造産群として保存し だんにある。 赤山は標高が60以。城山同様、 館山市およびその周辺に多く と講師は語る。「移住して 地学的な見どころもふん

2021.7.20 (W)

ことだろう。「しろ」と「あか」

阻白そうだ。

頂上からの眺めはさぞかし良い 策コースにしたらどうだろう 赤山も整備して歴史を感じる散 も覚えきれない。2度目の参加 の歴史など多岐にわたる。とて 形の成り立ち、戦争に至るまで 存状態が良好だった。

安房文化遺産フォーラムが主催

い自身を自覚する。NPO法人

元のことを知られ したが、あまり地

42年ぶりに故郷

する戦跡ガイド講座があると聞

講義は戦跡に限ることなく地

った。資料が残っていないため

壊の壁にはうねるような地層

した震災後の ろうか。壊滅 できるものだ

モデル的な地 裏に掘られた を選定し、か たうえで場所 地質調査をし によって秘密 から専門部隊 なり早い段階

期は不明である。市教委の文化財看板には「終 壕内の壁面は凝灰岩質砂岩で、鮮始められていた』と証言している。 桁生まれの周辺住民は「日米開戦前から掘り たのではないか」と書かれているが、昭和一 戦が差し迫った1944年より後に建設され 壕がある。ほとんど資料がなく、 その南側に位置する標高60mの赤山内部に 網の目状に2㎞近く掘られた巨大な地下 作られた時

下壕ではないかと推察される。

ഗ

直接軍政

る。発電室の壁や天井は、岩盤の上に金網を 掘られたツルハシ痕がくっきりと残ってい 習だけでなく、総合学習の教材としても人気 層や断層が美しい模様を描いている。平和学 均等な力加減で 崩落防止が施さ 鮮やかな地 金石だった可能性が高い。 領政策を考えるための試 山に上陸し、本土唯一「4 占領軍3、600名が館 1945年9月3日。米 伏文書調印式の翌日、 赤山地下壕内には 艦船ミズーリ号での降 敗戦後の日本の占 の直接軍政が敷か

に上陸した米占領軍司令 した資料のなかに、館山 サス軍事博物館から入手 ている。近年、米国テキ SA」の朱文字が残され U

期の混乱時期

たして戦争末 れている。は

に、こんなに

一寧な作業が

張ってコンクリートを塗り、

大部分が素掘りで、

あったことが示唆される。 の管制機能をもつ航空要塞的な地下施設で 壕が完ぺきな状態で存在していたことがわか され、そこには完全な信号、電源、ほかの様々 下海軍航空司令所が館山海軍航空基地で発見 官の報告書があった。そこには、 る。単なる防空壕ではなく、館山海軍航空隊 な装備が含まれていた」と記され、 「完全な地 赤山地下



習は、

戦争とい

面的では 交流・共

館山の平和学 材が多くある。

1945.9.3米占領軍の館山上陸

学ぶことがで 化」を多面的に から「平和の文 生という観点

義される。 解決していこうとする価値観や行動様式と定 充満することを宣言している。 の提唱を受けて、世界中を「平和の文化」で つけることなく、暴力によらず対話によって 対立が起きたとき、 あらゆる生命を傷 一平和の文化

がけで花の種苗を守った農民がいたおかげ が出されたが、「花は心の食べ物」として命 戦争末期、安房では農民には花作り禁止令 戦後の花畑につながっている。

和の文化」の教 した記念の「日中友好」 ハングル「四面石塔」や、清国遭難船を救助 ほかにも、江戸期に建立された平和祈願 来面 場場とは0日000日0日0 計画 の碑をはじめ、 平

海の 月日天日 そる · 每無阿彌陀佛 **紫草年銀町織園** 佛 共正以初紀主治村及 外世 眼が中間 最 鼻 理中 馬 匠 件 利部即是彌陀另一發稱念罪皆除



ハングル四面石塔 (千葉県指定)文化財)

「平和の文化」 を学ぶ旅

21世紀を迎えるにあたり、 国連はユネスコ

> NPO法人安房文化遺産フォーラム e −E a ·-⊢ : awabunka.npo@gmail.com TEL: 0470-22-8271 十葉県館山市北条1721-1 問い合せ先

戦争遺跡で考える 「戦争と平和」

平 和

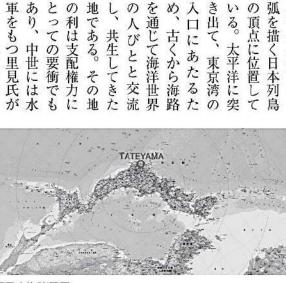
・交流・共生を学ぶ一

NPO法人安房文化遺産フォーラム 一共同代表 池田

東京湾要塞の軍都・館山の戦争遺跡

「館山まるごと博物館 恵美子 千葉県

地である。その地 の人びとと交流 を通じて海洋世界 入口にあたるた き出て、 の頂点に位置して 弧を描く日本列島 島南端の館山は、 を見ると、房総半 いる。太平洋に突 し、共生してきた 南北逆さに地図 古くから海路 東京湾の



環日本海諸国図

安房国を治め、明治期以降は東京湾要塞の重 170年にわたり

要拠点となった。

園は城郭遺構と戦跡の両方を見ることができ れており、 跡群は重層的に存在している。たとえば館山 狭い半島先端部に、 戦時下に頂上が削られて砲台が築か 八犬伝博物館のある城山公 中世城跡群と近代の戦

> ガイドをおこなっている。 山まるごと博物館」と呼び、 る。多彩で魅力的な自然・歴史文化遺産を「館 スタディツアー

くの来訪者を迎えている。 山海軍航空隊赤山地下壕跡」 重要な遺跡)と高い評価が多い。とりわけ「館 くことができない史跡)、Bランク13 なかでも戦跡は館山市内に47確認されてお A ランク18 は平和学習拠点として一般公開され、 (近代史を理解するうえで欠 (館山市指定史 (特に

平和学習プログラム

もできる。

歴史的背景を理解することがむずかしい。 も特徴のひとつである。 加害と被害の両面から戦争を俯瞰できること の団体で引き受けている。館山の平和学習は、 長崎とは異なり、ただ見学しただけではその NPOのスタディツアーガイドは10人以上 しかし、沖縄・広島

ほかにも、 参加費は一人あたり1500円である。 学は20人程度のグループ毎にガイドがつき、 間の座学をテキスト付きで提供している。見 そこで平和学習プログラムとして、約1時 基本コースの赤山地下壕は所要1時間弱 徒歩10分のところにある掩体壕を

> はじめ、 ナルコースを組んでいる。 団体の希望に応じて多様なオプショ

られた館山の役割を地政学的に紹介している。 と大本営の本土決戦防衛計画などの地図をそ れぞれ比較しながら、世界戦略上に位置づけ 座学では、真珠湾と館山湾、 「館山まるごと博物館」の総合学習は、 米軍の本土侵攻計画「コロネット作戦 沖縄県と千葉

磨きアクセサリー作り体験、 の見学、 いて渡れる無人島「沖ノ島」の環境学習や貝 海 木造文化財校舎

前の海底地 200万年 岸段丘や 滑り地層な わせること どを組み合



赤山地下壕の謎

なった。 れる。関東大震災では湾岸部の市街地が99% 壊滅し、2つの離れ小島までの間が干潟に から、館山は日本で一番隆起しているといわ 沖合で3つのプレートがぶつかり合う影響

がおこなわれた。 艦上攻撃機のパイロットや落下傘部隊の養成 狭い航空隊基地は通称 年に館山海軍航空隊が開かれた。1×2㎞の そこを埋め立てて、震災7年後の1930 「陸の空母」と呼ばれ、

◆ 館山クラウドファンディング ~8 月 28 日 (土) まで~

新型コロナウイルスに負けない!

千葉県館山市の飲食店、観光事業者を応援するゾー

みらめし・みらたび たてやま

~みらいのごはん、みらいの旅を予約します~

先どり商品券が20%お得!



飲食店・宿泊・体験観光施設 などから1店舗を指定して購入。 または寄付応援。

NPO法人安房文化遺産フォーラムも 選べます!

詳しくはホームページを参照下さい。

第17回 安房・平和のための美術展

ART FOR THE EARTH 2021

- 第17回 安房・平和のための美術展-2021 8.21(±)~29(日)

会場: 枇杷倶楽部ギャラリー



↑写真はNPO会員の橋本芳久氏「夕陽は芸術」 NPOフォーラムも資料展示します。

第 24 回戦争遺跡保存全国シンポジウム <オンライン開催> 東京・東大和大会

主催:戦争遺跡保存全国ネットワーク

参加費: 一般 2,000 円、大学生 1,000 円、高校生以下無料 ⇒ 参加希望は、NPO フォーラム事務局へ(〆切 8/30)

***10**月**2**日(土)10:00~14:30

- ・基調講演「戦争の記憶から記憶へ」加藤聖文氏 (人間文化研究機構国文学研究資料館)
- ・地域報告「多摩地域の戦争遺跡」齊籐勉氏 (浅川地下壕の保存をすすめる会)

「大規模修繕後の旧日立航空機変電所」 (東大和・戦災変電所を保存する会)

*10月3日(日)10:00~15:00

- ・第1分科会「保存運動の現状と課題」
- ・第2分科会「調査の方法と整備技術」
- ・第3分科会「平和博物館と次世代への継承」



2020 年 千葉県教育委員会の委託 コロナ禍の見学会中止に伴う代替事業 NPO 安房文化遺産フォーラム制作

【安房高等女学校木造校舎を愛する会】では、

草刈り・校舎内の掃除をしています。 お手伝いを募集中! 次回の予定は、

9月4日(土)・18日(土)

10月9日(土)・23日(土)

いずれも8時~9時半、強雨は翌日順延です。

【訃報】

NPOの理念に賛同し、長きにわたって活動を支えご貢献下さった会員・支援者の方々が永眠されました。もっともっとお話をお聞きしたかったと悔やまれます。これまでのご理解に感謝を捧げ、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

- *野田春彦先生 (東京大学名誉教授・生物物理化 学の先駆者で「コラーゲン」の命名者)
- *小谷トシさん (青木繁 「海の幸」 誕生の小谷家 の先代当主夫人)
- *島田吉廣さん(青木繁《海の幸》誕生の家と記 念碑を保存する会副会長。複製画制作技術の 第一人者。布良の御輿を愛する情熱家)
- *豊崎栄吉さん(船大工の棟梁。戦争や水産業の 歴史研究。青木繁まちづくりの発起人)
- *長田敬子さん (短歌をはじめ多彩な才人)
- *飯沼勇さん (揺るぎない信念と有志の人)